

平成27年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
大谷 浩	発生生物学 I	「発生生物学 I」で学んだこと
大谷 浩	先天異常 I	「先天異常 I」で学んだこと
大谷 浩	先天異常 II	「先天異常 II」で学んだこと
大谷 浩	医生物学への数学・情報科学の応用	「医生物学への数学・情報科学の応用」で学んだこと
安井 幸彦	神経科学 III	神経科学 III で学んだことについて (Submit the report about what you learned in Nuroscience III.)
紫藤 治	応用医科学	下記のどれかについて作成ください。 1. 運動開始と動脈血圧反射の修飾: セントラルコマンドの役割 Central modulation of arterial baroreflex at onset of exercise 2. 下垂体後葉機能の可視化とオプトジェネティクスによるニューロン活動制御の試み Visualization of neurohypophysial function and optogenetic approach to regulate neuronal activity
紫藤 治	生体病態学 III	3. 高濃度炭酸泉浸漬時の温度感覚上昇機序に関わる TRP チャンネルの役割 The role of TRP channel related to thermal effect during carbon dioxide-rich water immersion 4. 香りがストレス誘発皮膚バリア機能低下に及ぼす抑制効果について Inhibitory effects of odor inhalation on the stress-induced disruption of the skin barrier function
廣田 秋彦	生体機能測定学 I	今回受講した生体機能測定学 I の講義の中で、自分にとって最も為になったと思われる 1 つ、あるいは一連の講義を選び、生体機能測定に対する認識が講義を受講してどのように変わったか、出来るだけ具体的に記載して下さい。 どの講義についての記載かがわかるように、選択した講義を行った教官名と講義のテーマを、必ずレポートの冒頭に明示願います。 ※添付するレポートのファイル名は 生体機能測定学 I (○○○○).doc と、○○○○の所に氏名を明記してください。1はI(大文字のアルファベットのアイ)でも構いませんが、和文フォントのローマ数字のI(いち)は文字化けするので使用しないで下さい。(意味不明の方は、上記ファイル名をコピーしたあと、○○○○を自分の氏名に置き換えて下さい)。ファイルの属性は docx (office 2007以降のファイル形式)でも構いません。
廣田 秋彦	医療のための光工学	今回受講した医療のための光工学の基礎の講義の中で、自分にとって最も為になったと思われる 1 つ、あるいは一連の講義を選び、医療のための光工学という概念に対する認識が講義を受講してどのように変わったか、出来るだけ具体的に記載して下さい。 どの講義(群)についての記載かがわかるように、選択した講義を行った教官名と講義のテーマを、必ずレポートの冒頭に明示願います。 ※添付するレポートのファイル名は 医療のための光工学の基礎 (○○○○).doc と、○○○○の所に氏名を明記してください。 光工学の基礎 (○○○○).doc でも構いません。 ファイルの属性は docx (office 2007以降のファイル形式)でも構いません。
土屋 美加子	分子機能学 I	分子機能学 I で学んだことについて
土屋 美加子	細胞機能学 I	細胞機能学 I で学んだことについて
浦野 健	基礎医科学	受講したセミナーのうち一つについて、「A4 一枚」でセミナー概要、疑問および感想をまとめる
浦野 健	細胞生物学 I	受講したセミナーのうち一つについて、「A4 一枚」でセミナー概要、疑問および感想をまとめる
和田 孝一郎	生体病態学 II	炎症反応が影響を及ぼす病態について
並河 徹	臓器病態学 II	臓器病態学 II で学んだこと
丸山 理留敬	器官系の病態構造 II	「器官系の病態構造 II」を学んだなかで、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持ったことがら、またはテーマを選び、それについて記しなさい
丸山 理留敬	臨床腫瘍学 V	「臨床腫瘍学 V」を学んだなかで、現在の専門分野に関連してあなたが最も関心を持ったことがら、またはテーマを選び、それについて記しなさい。

平成27年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
吉山 裕規	感染症学 I	「感染が原因で起こる癌を病原体の種類別に3つ挙げ、予防法または治療法を調べなさい」 英語のタイトルは”Choose three microorganism which cause cancer in human being, then explain the preventive and/or therapeutic methods for each microbe.” 日本語:3000文字以内, English : up to 1,000 words
原田 守	基礎免疫学 I	Inflammasome について述べよ。
原田 守	腫瘍免疫学 I	免疫チェックポイント阻害療法について述べよ。
原田 守	移植免疫学 I	Graft versus leukemia effect について述べよ。
原田 守	機能性物質・食品の医療応用と環境影響	受講した講義から1つを選び、印象に残った内容をまとめよ。
竹下 治男	中毒学 I	中毒学 I で学んだことについて
竹下 治男	中毒学 II	中毒学 II で学んだことについて
神田 秀幸	環境医学 I	環境医学 I で学んだこと
神田 秀幸	環境医学 II	環境医学 II で学んだこと
嘉数 直樹	発癌 I	「発癌I」の講義のテーマから任意に選び(一つでも複数をもとめてでもどちらでも可)、そのテーマから学んだこと、考察したことを課題とします。 形式:1枚目に課題名、所属講座、氏名を、2枚目以降に課題について記述する
津本 周作	医学・医療情報学 I	地域医療学から直接連絡があります。
津本 周作	地域医療学 II	履修登録者未履修
杉本 利嗣	内分泌・代謝学 I	1. 先天代謝異常の病因と病態について記せ。(小児科学 山口教授) 2. 内分泌学の観点から排卵、受精、着床現象について記せ。 (婦人科 金崎講師) 3. カルシウム・骨代謝調節機構について記せ。(内科学第一 杉本教授) 4. 生活習慣病と骨粗鬆症の病態について記せ。(内科学第一 山内准教授)
木下 芳一	器官系の病態構造 I	腸内細菌叢の有する意義に関して述べよ
木下 芳一	臨床腫瘍学 I	LKB1について知るところを述べよ
山口 修平	臨床医科学	認知症における脳コネクトームの乱れについて述べよ
磯部 威	臨床腫瘍学総論	以下の3つの課題から一つを選択し、最近のトピックスについて記載してください。 ① がんのチーム医療 ② 分子標的治療薬 ③ がんの免疫療法
磯部 威	地域がん治療学	以下の4つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① がん検診 ② がん医療の病診連携 ③ 地域がん診療病院の果たす役割について ④ がんプロフェッショナル養成基盤推進プランとは
磯部 威	がん医療社会学	★がん医療社会学 以下の4つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① 高齢者がん医療 がん化学療法、外科療法の適応など ② がんの終末期医療 ③ がん医療と医療経済
磯部 威	臓器病態学Ⅲ	以下の4つの課題から一つを選択し、現状と問題点について記載してください。 ① COPDの併存症について ② 肺炎球菌ワクチンについて ③ 間質性肺炎の治療について

平成27年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
森田 栄伸	臨床免疫学Ⅱ	「アレルギー機序により発症する疾患について」 Any disease developed by allergic mechanism
山口 清次	分子病態学Ⅱ	優性遺伝のメカニズムの4つについて、それぞれ例を挙げて説明しなさい。 Explain 4 types of mechanisms in autosomal dominant inheritance, with examples for each type.
田島 義証	腫瘍生物学Ⅰ	添付ファイルのとおり(該当者にはメールにファイルを添付しています。)
田島 義証	臨床腫瘍学Ⅱ	添付ファイルのとおり(該当者にはメールにファイルを添付しています。)
織田 禎二	組織・器官系の構造と機能Ⅱ	心臓の構造・機能の関連について、収縮能と拡張能、右心機能と左心機能に分けて述べよ。(添付ファイル有)
織田 禎二	臓器病態学Ⅰ	重症心不全に対する治療法について、薬物、人工心臓、心移植に分けて述べよ。(添付ファイル有)
内尾 祐司	理工医学のための生物材料学	理工医学のための生物材料学について学んだこと
永井 秀政	神経科学Ⅰ	下記の(1)あるいは(2)のどちらか一つについてレポート(A4 1枚)を提出すること。 “Please submit a report about whether either (1) or (2).” (1)これまでに参加したセミナーや講義などで、研究の助けになった内容。 “About the helpful contents for your research in the lectures which you had registered.” (2)これまでの研究の進行状況。 “The progress of your research.”
秋山 恭彦	腫瘍生物学Ⅱ	各自が最近読まれた研究論文(original article)のなかの1論文について、 ①ジャーナル雑誌、年、巻、頁、論文タイトルを記載のうえ、 ②論文を読んで、今後該当分野での各自の考える研究課題、今後明らかにすべき課題について、 ③A4 1~2枚(800字以内)でまとめる。
椎名 浩昭	細胞内情報制御学Ⅰ	Wntシグナルの腫瘍学的意義に関して考察しなさい
堀口 淳	生体病態学Ⅰ	Write the symptoms and treatment of restless legs syndrome by English or Japanese
川内 秀之	臨床腫瘍学Ⅳ	放射線治療および抗がん剤による化学療法による腫瘍細胞の死滅のメカニズム Mechanism of tumor cell death induced by radiation therapy and/or chemotherapy with anticancer drug
川内 秀之	臨床免疫学Ⅰ	制御性T細胞の機能と役割 Function of regulatory T cells and its clinical implication for allergic or autoimmune diseases
大平 明弘	老化Ⅱ	老化の機序について
北垣 一	臨床腫瘍学Ⅲ	臨床腫瘍学に関してあなたが得た最新の知見について記載しなさい。ただし、出典文献を記載し、制限文字数はA4 1ページとする。
齊藤 洋司	緩和ケア学	「緩和ケア学」に関する研究実績と今後の研究展望
齊藤 洋司	神経科学Ⅱ	「神経科学Ⅱ」に関する研究実績と今後の研究展望
関根 浄治	細胞生物学Ⅱ	S-phase cellの同定法を述べよ。 Describe how to detect S-phase cells.
関根 浄治	口腔腫瘍学	子宮頸部扁平上皮癌と口腔扁平上皮癌の組織構造の違いを簡潔に述べよ。 What is the cytopathological difference between cervical and oral squamous cell carcinoma?
長井 篤	臨床医学と社会・環境医学への高度情報学の応用	今年度受講した上記講義の中で、自分にとって興味深いと思われる1つ、あるいは一連の講義を選び、臨床・社会・環境医学の中で高度情報学がどのように利用されているかに力点をおいて説明し、講義により今後医学情報の活用に関する認識がどのように変わったか、できるだけ具体的に記載してください。どの講義についての記載かわかるよう、講義を行った教官名等を明示願います。長さはA4で1枚程度です。
熊倉 俊一	地域医療学Ⅰ	地域医療について

平成27年度 博士課程授業科目課題

主担当教員	授業科目	課 題
熊倉 俊一	総合診療学Ⅰ	「総合診療について」または「総合医について」
石橋 豊	総合診療学Ⅱ	地域で異なる総合医像: 貴方が求める総合医像と育成について
小林 裕太	老化	Criticism of an original paper on Gerontology field (the copy (PDF) of the paper should be attached) (A4 size less than 2 sheets)
小林 裕太	細胞間情報伝達学Ⅰ	Criticism of an original paper on endocrinology field (the copy (PDF) of the paper should be attached) (A4 size less than 2 sheets)
小林 裕太	細胞間情報伝達学Ⅱ	Criticism of an original paper on endocrine disease field (the copy (PDF) of the paper should be attached) (A4 size less than 2 sheets)
鈴宮 淳司	腫瘍生物学Ⅲ	造血器悪性腫瘍に対する分子標的療法および分化誘導療法
鈴宮 淳司	臨床腫瘍学Ⅵ	各専門領域の腫瘍に対する抗がん薬治療の理論と実際
直良 浩司	薬物動態学Ⅰ	添付ファイルのとおり(該当者にはメールにファイルを添付しています。)
中村 守彦	分子病態学Ⅰ	「分子病態学Ⅰで学んだこと」"Lessons learned from molecular pathology"

課題欄に課題があるものは既にメールでお知らせしています。届いていない方は、msa-daigakuin@office.shimane-u.ac.jpまでメールを送信ください。